

国営越後丘陵公園

整備・管理運営プログラム



平成29年3月

国土交通省北陸地方整備局

I. はじめに

国営越後丘陵公園は、近年のレクリエーションニーズの多様化、交流の拡大など広域的レクリエーション需要の増加に対応するために、全国で13番目、本州日本海側初の国営公園として、新潟県長岡市において平成元年度より整備を進めています。

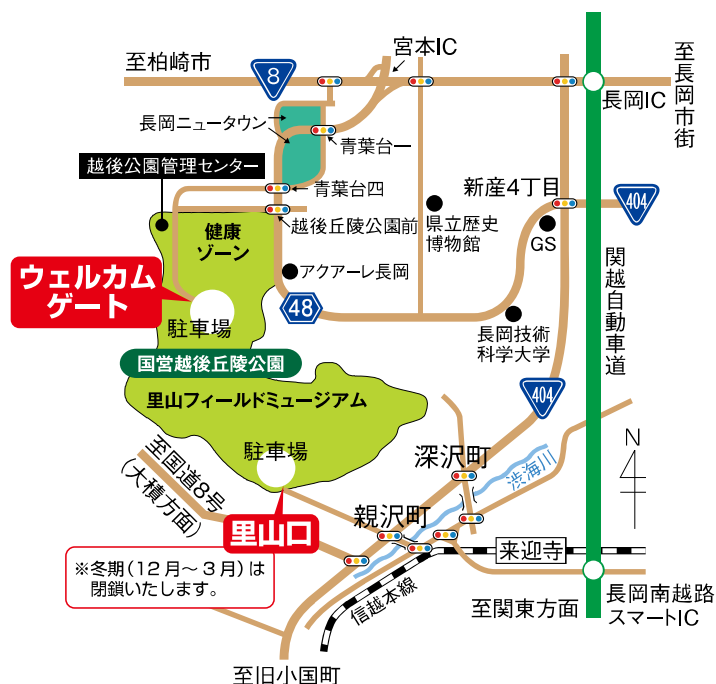
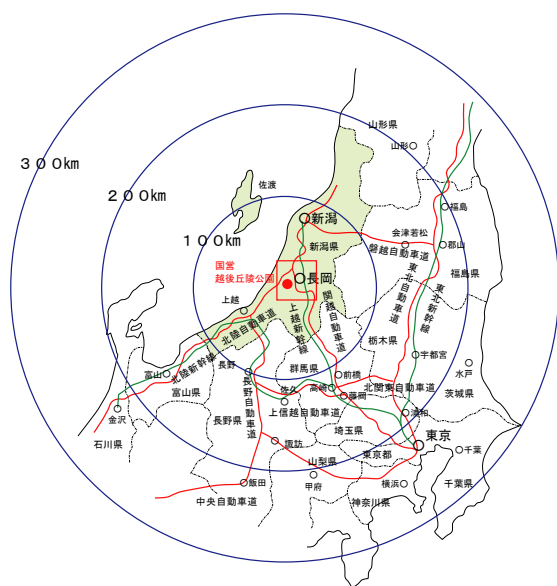
当公園としては、良好な交通条件と恵まれた自然条件を活用し、北陸地方の中心的な公園として、雪国の風土を活かしつつ、四季を通じて誰もが、広々とした園内で遊び、色とりどりの花を楽しみ、里山の自然や暮らしを知ってもらうための整備を進めています。

また、園内の各施設はユニバーサルデザインを基本とし、誰もが安全・快適に利用頂けるように整備を進めています。

管理運営にあたっては、園内の豊かな自然環境や地域の観光資源を活かし、地域のボランティア等との連携のもと、里山の自然環境とのふれあいの機会の提供や、イベントの充実、効率的な管理運営等を進めています。

1. 全体計画

(1) 所在地 新潟県長岡市



(2) 全体面積 約400ha

(3) 整備着手年度 平成元年度整備着手

(4) 基本テーマ 「天に学び、地に遊び、人と集う、越の里」

(5) 基本方針

1) 恵まれた自然資源の保全と活用

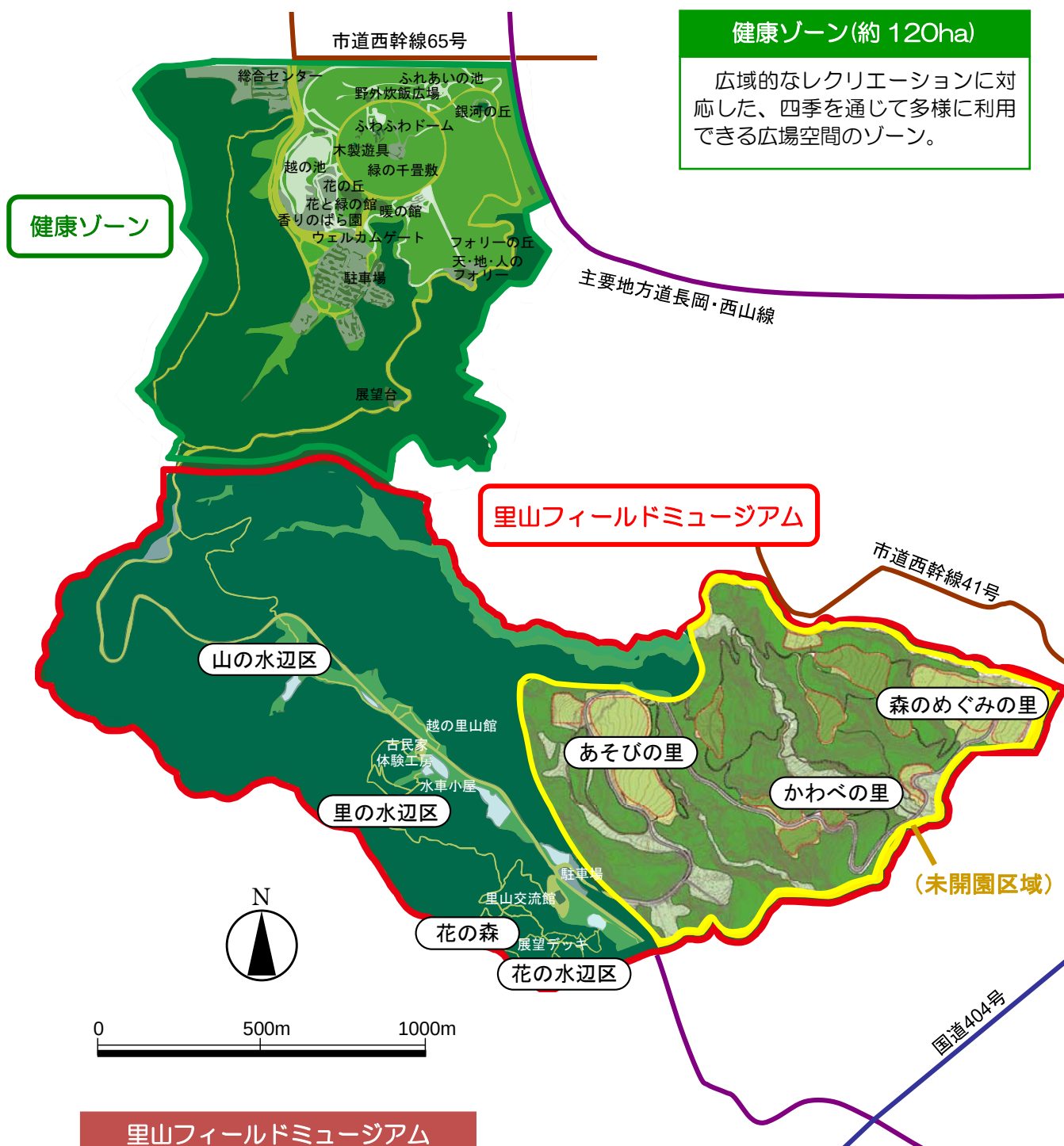
2) 多様なレクリエーション需要への対応

3) 通年利用を可能に

4) 古き文化の継承と新しき文化の育み

5) 地域社会との交流を深め地域に貢献

(6) 全体構成



里山フィールドミュージアム (約280ha)

雪国越後の里山を復元し、自然資源を活かした様々な体験学習の開催や雪国の里山情報の発信を行うゾーン。

また、かつての雪国里山の暮らし体験と、自然にやさしいこれからのライフスタイルの体験の場を提供していくゾーン。



あそびの里のイメージ

2. 供用の経緯

昭和 62 年度に長岡市を国営公園候補地として決定し、平成元年度より整備に着手しました。平成 3 年度より健康ゾーンの工事に着手し、平成 10 年 7 月 30 日に健康ゾーンの一部 29ha を開園しました。その後整備を進め、平成 15 年度には健康ゾーン約 120ha が概成しました。里山フィールドミュージアムは、平成 15 年度より整備に着手し、平成 24 年 4 月までに 177.3ha を開園しました。

年 度	主 な 施 設	累計開園面積
平成元年度	事業着手	
平成 2 年度	都市計画決定 (398.6ha)	
平成 3 年度	工事着手	
平成 10 年度	健康ゾーンの一部開園 (29ha) (緑の千畳敷、銀河の丘、越の池、イングリッシュガーデン、暖の館、天・地・人のフォリー、駐車場 など)	29ha
平成 11 年度	展望台開園 (18ha) (ふれあいの森、フォリーの丘、展望台、園路 など)	47ha
平成 12 年度	健康ゾーン追加開園 (25ha) (駐車場、園路及び樹林地 など)	72ha
平成 13 年度	花と緑の館管理棟及び自然探勝路橋の開園 (0.3ha)	72.3ha
平成 14 年度	自然探勝路及び樹林地開園 (47ha)	119.3ha
平成 15 年度	花と緑の館(休憩棟)追加開園 (0.3ha)、ばら園開園	119.6ha
平成 19 年度	里山フィールドミュージアムの一部開園 (20ha) (里山ふれあいエリア)	139.6ha
平成 20 年度	里山フィールドミュージアムの追加開園 (9ha)	148.6ha
平成 21 年度	総合センター開所 (1.5ha) 里山フィールドミュージアムの追加開園 (5ha)	155.1ha
平成 24 年度	里山フィールドミュージアムの追加開園 (143.3ha)	298.4ha



香りのばらまつり (健康ゾーン)



環境学習
(里山フィールドミュージアム)

3. 開園している主な施設

1) 健康ゾーン

※…冬期休止

名 称		写 真	施設概要
緑の千畳敷	木製遊具※		ローラーすべり台やターザンロープ、ころりん城など、26 種類の大型アスレチック遊具があります。
	ふわふわドーム※		白い山型の巨大なトランボリンで、とんだり跳ねたりすべったり、思いっきり遊べます。
	緑の千畳敷		ウェルカムゲートから入って正面にある、直径 300m の大きな芝生の広場。1 周 1 km の円周路があり、大ケヤキがシンボルです。
越の池	音楽噴水※		30 分毎に異なる音楽に合わせて噴水が上がり、音と水の競演が楽しめます。
	水遊び広場※		ウォーターマシンガンやウォーターステップなど 12 種類の水遊具があります。(利用時期：5～9 月頃)
	越の池 レストハウス※		音楽噴水を見ながら食事やスイーツが楽しめます。
フォリーの丘	展望台※		標高 230mにある展望台からは、越後平野や信野川など、360 度の大パノラマが広がります。(冬期はトイレのみ利用可能)
	天・地・人の フォリー		フォリーの丘の頂上にある建物で、塔の高さは 17.5 m。カリヨン（鐘）や自動販売機、トイレがあります。
	雪割草群生地		雪解けとともに咲き、“春の妖精”とも呼ばれる雪割草。春の訪れを告げる雪割草の群生地は自然探勝路の途中にあり、毎年 1 万株ずつ植栽して数を増やしています。
	ラベンダー園		初夏、ラベンダーが一面に咲く風景と、雄大なフォリーの丘が一体となった美しい景観が、爽やかな香りとともに楽しめます。

名 称		写 真	施設概要
ふれあいの森	ふれあいの森		花や葉色を楽しめる宿根草・多年草と、樹木とが一体となった「林床・林縁花壇」が、四季折々の表情を見せます。
入口広場	花と緑の館		波打った屋根が特徴の、開放感あるガラス張りの建物。館内では、クラフト教室や展示、ステージショーなども開催します。
	暖の館		シャワールーム付きの更衣室や乾燥室などがあります。ボルダリングウォールのほか、冬期には屋内遊具も楽しめます。
	香りのばら園		6種類の香りのタイプ別に植えられた「香りのエリア」や、宿根草類とばらとの調和が美しい「ばらと草花のエリア」など7つのエリアがあります。
	花の丘		3,000 m ² の丘一面に、春はチューリップ、秋はコスモスが咲き誇ります。丘のふもとから見上げたり、頂上から見渡したり、観る角度によって花の表情が異なる風景を楽しめます。
自然探勝路			健康ゾーンを囲む丘陵の樹林内にある約 3km の散策路。四季折々の自然を楽しめます。冬期間は土日祝日限定でスノーシューコースとして利用できます。

2) 里山フィールドミュージアム

※…冬期休止

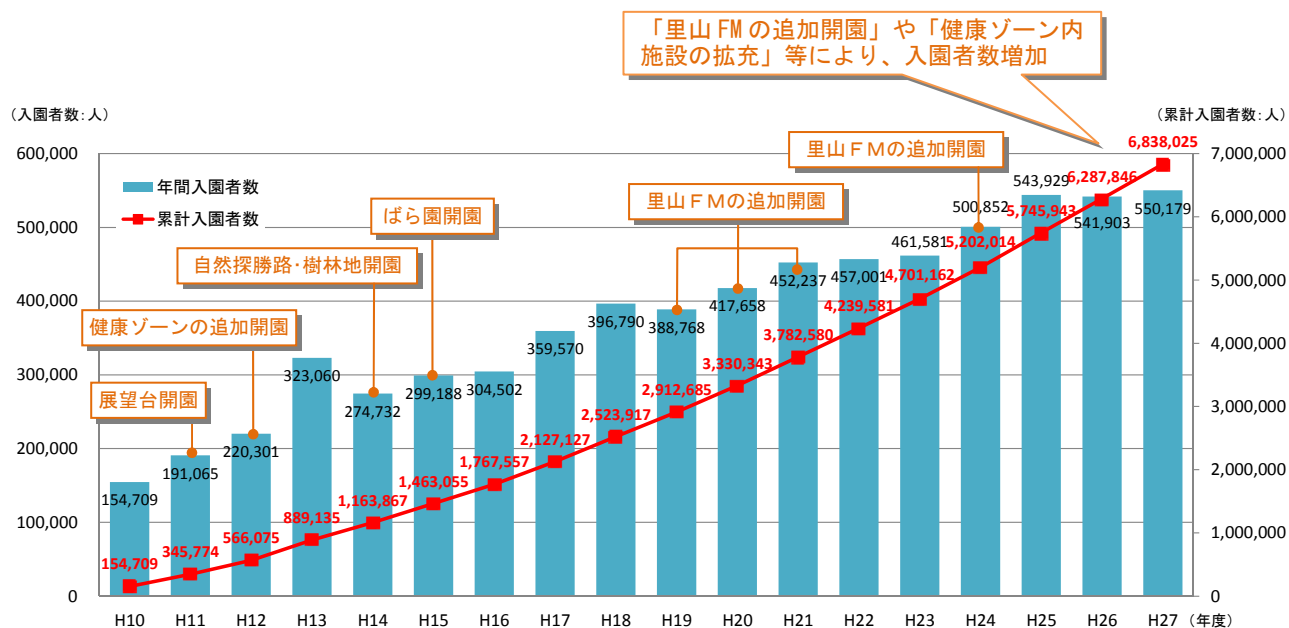
名 称	写 真	施設概要
越の里山館※		明治初期に建築され中越地震にも耐えた旧山古志地域の古民家の部材を活用して建てられました。里山の暮らしや養蚕、織物等について展示しています。
里山交流館 えちごにあん※		里山の旬の情報を発信する拠点施設。水辺の生きものの水槽や昆虫標本の展示のほか、休憩スペースや自由工作コーナー、芝ソリグレンデもあります。
古民家※		雪国越後のかや葺民家。長岡市寺島町にあった江戸時代後期に建てられた民家を復元しています。前には水田や畑もあり、毎年、無農薬有機栽培の“ころりん米”などを育てています。

名 称	写 真	施設概要
里山体験工房 かたくり※		昔ながらのかまどや調理台などを備え、里山の食文化や草木染めなどの体験プログラムを開催している施設です。
カタクリ大群落※		春を待ちわびたかのように、雪が解けた里山の斜面約2haに、100万株のカタクリが開花します。

施設配置図



4. 年度別利用者数



Ⅱ. 平成32年度までの整備及び管理運営方針等

1. 平成32年度までの整備・管理運営の重点事項

(1) 基本目標

《豊かな里山の自然や花修景を活かした魅力の向上と地域社会への貢献》

国営越後丘陵公園では、自然豊かな里山や国営公園随一のばら園、広大な花畑をもつ国営公園としての特徴を活かした魅力の提供と、施設のリニューアルによる更なる使いやすさの向上が求められています。また広域防災拠点としての機能確保、生物多様性や健康増進への寄与、地域振興への貢献、インバウンド促進など、当該地域の社会的課題を踏まえた整備・管理運営が必要です。今後5年間は、以下の基本目標を基に、整備、管理・運営を総合的に実施します。

①魅力の増大と利用快適性の向上

里山フィールドミュージアムの「あそびの里」を追加開園し、多様な利用者層に向けた新たな魅力を提供します。

既開園区域では、トイレや休憩施設等の充実により、利用快適性の向上を図るとともに、外国人観光客への対応を含むユニバーサルデザインの一層の推進によって、あらゆる利用者が楽しめる公園としての機能を向上させます。

また、インバウンド促進にも資する雪遊び体験等の冬の魅力を提供します。

②地域観光資源との連携による観光振興への貢献

地域の資源や文化と一体となった観光施設としての機能を充実させ、地域の観光振興に貢献します。また管理運営面において、地域の多様な主体との連携・協働を進め、地域の人づくりを支援します。これらによって、多様なかたちで地域振興に資する公園を目指します。

③里山ならではの自然環境の保全と活用

公園区域内の特徴ある里山環境を、ボランティアの協力のもと、適正な管理を行って本来の姿の維持に努め、魅力的なレクリエーション要素として、また環境学習の場として有効に活用していきます。こうした里山環境の維持・活用によって、地域の生物多様性向上に貢献します。

④災害に強い地域づくりへの貢献

健康ゾーンは災害時の広域防災拠点として位置づけ、防災活動の支援に貢献します。また、里山フィールドミュージアム未供用区域の整備推進により、災害時に利用可能なスペースをさらに拡充するとともに、自治体等との連携を強化し、災害に強い地域づくりに貢献できる公園を目指します。

⑤施設リニューアルや長寿命化による公園施設ストックの有効活用

利用者のニーズを踏まえ、園内の老朽化施設の新たな利活用を検討し、効率的・効果的なリニューアル整備や施設再編を図ります。また長寿命化計画に基づく、公園施設ストックの有効活用を図れるよう計画的な修繕を推進していきます。

(2) 公園づくりの方向性

《幅広い利用者層が楽しめる魅力と快適性の向上、
里山の自然を活かしたレクリエーションを楽しむ場の充実を目指して》

●健康ゾーン

- ・ 子供からお年寄り、さらに外国人観光客が楽しめる場となるよう、公園施設の利便性向上や老朽化施設のリニューアルを行い、魅力と快適性を向上させます。

●里山フィールドミュージアム

- ・ 美しい里山の風景と環境を維持するとともに、「あそびの里」の追加開園により、レクリエーションを楽しむ場としての利用を含め、里山フィールドミュージアムならではの新たな魅力を提供します。

①健康ゾーン

外国人を含む、幅広い利用者層が公園を快適に利用して頂けるよう、引き続き花空間の充実や、休憩施設の拡充を行うとともに、園内サイン等の多言語化や利用者ニーズに配慮した老朽化施設のリニューアルを行います。

②里山フィールドミュージアム

ボランティアの方々の協力を得ながら、越後の里山ならではの植物の植栽や林床の整備を行って、美しい里山の風景と環境の維持・拡大を図ります。

追加開園を予定する「あそびの里」では、「雄大な眺望を楽しめる大草原」や「森の遊び場」等の整備によって、里山フィールドミュージアムならではの資源を活用し、多様な利用者層に魅力を提供します。また健康ゾーンと併せ、レクリエーションの利用を促進します。



香りのばらまつり（健康ゾーン）



トレイルランニング
（里山フィールドミュージアム）

2. 整備方針

①あそびの里の追加開園による里山フィールドミュージアムの魅力向上

里山フィールドミュージアム未供用区域の整備では、広場施設、便益施設、植栽等の整備を推進します。またあそびの里（森林区域）では、園路等の基盤整備および森林遊具の整備を実施します。これらの整備により、「雄大な眺望を楽しめる大草原」や「森の遊び場」等の新たな魅力を里山フィールドミュージアムに付加し、多様な利用者層に魅力を提供します。



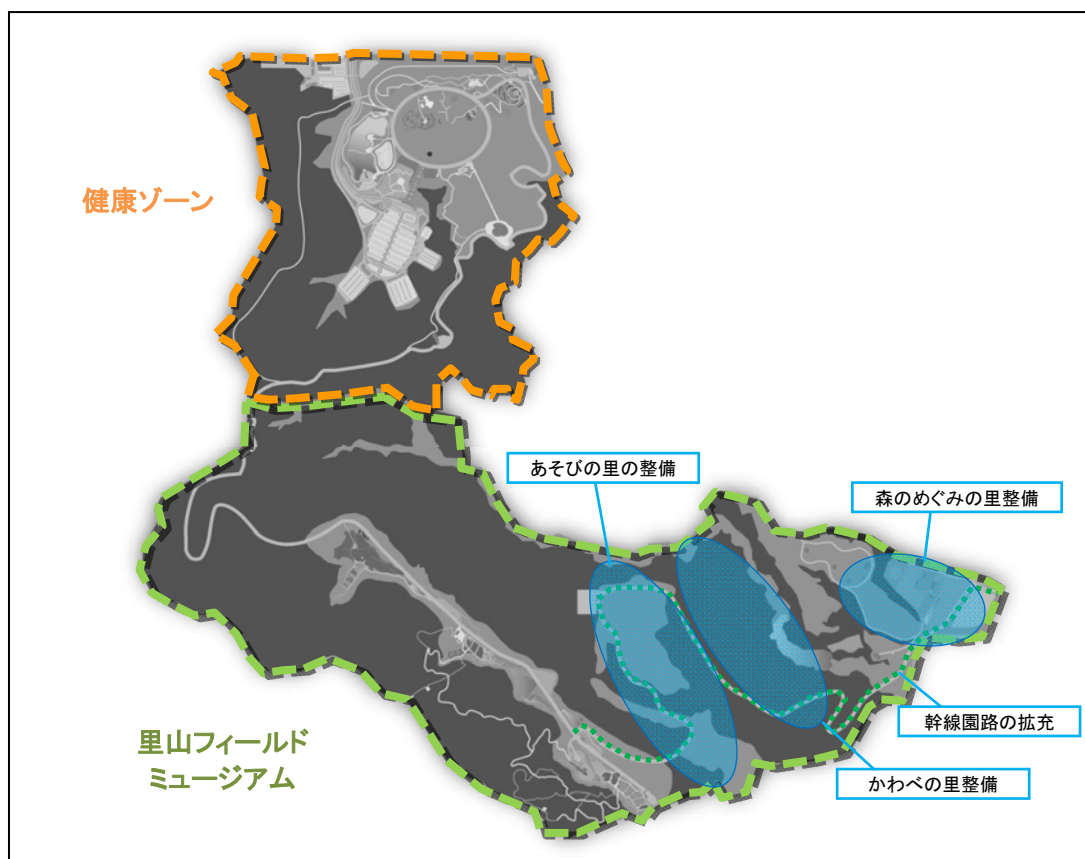
あそびの里のイメージ

②かわべの里・森のめぐみの里の追加開園に向けた基盤整備の推進

あそびの里～森のめぐみの里間を結ぶ幹線園路について、未整備区間の整備を実施します。また今後の追加開園に向け、かわべの里より順次、林床整備による休憩・展望スポットの設置、森林観察ルート・川遊び体験ルートの整備などを推進します。



かわべの里のイメージ



整備概要図

3. 管理運営方針

①既存施設のリニューアルによる魅力の向上

健康ゾーンでは、越の池の漏水対策や音楽噴水のシステム更新など、既存施設の再整備を実施して魅力の維持を図ります。また、フォリーの丘周辺一帯における花修景施設等の再整備、暖の館内部のリフォーム、健康機能を取り入れた大人も楽しめる遊具へのリニューアルなど、最新の利用者ニーズにマッチした施設更新を行い、魅力の向上を図ります。

里山フィールドミュージアムでは利用効果の高いカタクリ大群落周辺の園路について、案内標識の拡充等により利用者の安全性と快適性の向上を図るとともに、利用禁止となっている箇所や利用頻度の低い細園路の廃止・統合を行います。併せてその他の林床植物の群生地の拡充やトレイルランニングコースの延伸によって魅力を付加し、利用の促進を図ります。



花修景施設の再整備イメージ



トレイルランニングコースづくり

②休憩施設や便益施設の充実によるサービスの向上

緑の千畳敷及び水遊び広場など、日陰を提供する休憩施設が不足しているエリアでは、パラソルやタープ等のレンタルサービスを行い、日陰空間を提供します。また自然探勝路など、座って休める場所の不足が指摘されているエリアを中心に、ベンチの増設を行います。

繁忙期に不満が多い箇所でのトイレ増設や、和式トイレから洋式トイレへの改修、授乳室の増設などにより利用者サービスの向上を図ります。

駐車場の再整備により、利用のしやすさと不足する駐車容量の拡大を図ります。

混雑時の不満を解消する適切な誘導対応や、清潔な施設維持、快適な広場空間の提供などのサービス向上に努めます。



日除施設等の充実



ウェルカムゲート前の混雑

③広域圏からの誘導

香りのばらまつりなど現在の人気イベントを継続し、より多様な利用者が参加できるよう拡充するとともに、これらを関東圏も含めて広く効果的にPRします。



バラに関連したイベントの開催

④園内サービス・ガイドの向上

園内のサイン表記等の見直しにより、利用しやすさの向上を図るとともに、サインの多言語化や、Wi-Fi 環境の整備を実施し、外国人利用者へのサービスも提供していきます。

また、入園者が目にしやすい場所へのイベント情報の掲示やチラシの配布、ホームページの改善によりサービスの向上に努めます。



サインの多言語化イメージ

⑤公園からの情報発信

多様な広報媒体を最大限に活用し、公園からの施設情報やイベント情報を提供していきます。



SNS による情報提供

⑥インバウンドの促進に向けたサービスの提供

外国人のニーズ・入園者数の把握に努めるとともに、インバウンド促進にむけた公園ルールの周知やサービス、園内スタッフの教育を行います。

外国人観光客を含む、利用者ニーズに合った雪遊び体験等の魅力を提供していきます。



インバウンド促進にむけた対応

⑦地域連携の推進

地元の近隣施設などとの共同イベントの開催や地元行政と協働した取組みの展開により地域連携を強化します。

また、新潟県内からの花苗の供給や長岡野菜など地場産品のPRを行い、地産地消活動にも貢献します。



長岡野菜のPR販売

⑧里山の保全活用

ボランティアによる協力のもと、里山の自然環境を楽しむ学べるフィールドとして、間伐や下草刈りなどの適正な樹林管理を行っていくことにより、生物多様性の保全にも資する健全な里山を維持し活用していきます。



下草刈り

⑨公園パートナーの育成

NPO やボランティアとのパートナーシップによる公園づくりを進めるとともに、園内の自然や里山文化などを来園者に分かりやすく解説できる自然観察インストラクターの育成を行います。また、ボランティア活動の活性化のための取組みを、積極的に行います。



ばら園ガイド

⑩災害時の迅速な対応

災害発生時において防災活動等の支援に迅速に対応できるよう、自治体等との連携を図ります。

また、防災意識向上のために園内での防災訓練プログラムを定期的に行い、広域防災拠点としての公園の役割・機能について周知します。



シェイクアウト

⑪利用者の安全、施設の機能の確保

園内を安全に利用していただくために遊具等の点検等を行い、利用者の安全を確保します。

また、日常点検を基に適切な補修を行い、施設の長寿命化を図ります。



木製遊具点検

⑫効率的な管理運営

引き続き、新たに整備する区域においても、雨水の利用や、太陽光発電などエコエネルギーの活用による光熱費の節減を行います。

また、未開園区域で発生した伐採木をチップ化し園路等に使用するなど維持費の縮減に取り組みます。



ウッドチップ舗装

4. 事業に伴い期待される効果

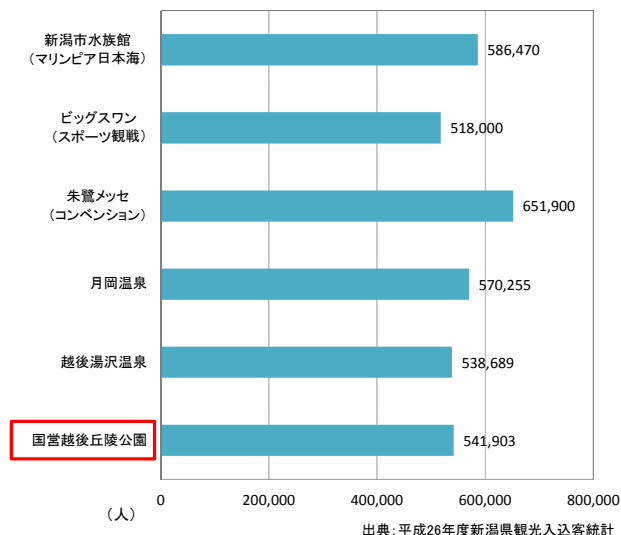
(1) 過年度事業によるストック効果

本公園は、広域圏から誘客効果のある「国際香りのばら新品種コンクール」や関東圏への情報発信等による利用者の増加によって、長岡市の周遊観光に貢献するなど、長岡地域圏の観光交流拠点として、地域観光関連施設への波及効果により地域の観光振興への効果を発揮しています。また、里山フィールドミュージアムの追加開園や健康ゾーン内の施設拡充などの段階的な整備により、提供できるサービスの増加に伴い、入園者数が年々増加することで、観光振興効果を発揮しています。

本公園は、林床の植物育成を目的にした樹林環境整備等によって維持されてきた広大な樹林地や希少種の保全等により、地域の生物多様性向上に資する効果を有しています。また、環境学習により、環境に対する興味・関心を高めることで、都市環境の保全に寄与する効果を発揮しています。

さらに、中越地震発生時には陸上自衛隊の災害派遣活動や被災者支援の拠点として活用されるとともに、陸上自衛隊が円滑かつ効果的に本公園を活用できるよう、公園の占用に関する協定を締結しています。

新潟県内の主要観光地点(概ね50万人規模)



ばらのブランド化による広域圏からの誘客効果



環境学習による環境保全への意識の向上効果



高い誘客力により観光振興に貢献する健康ゾーン



自衛隊災害派遣活動の拠点として提供した駐車場

(2) 今後5年間の事業による効果

さらに、整備・管理運営方針に基づいた施策を実施することにより、以下のようなストック効果の拡大が見込まれます。

地域活性化（地域振興・貢献等）

- ・「香りのばら園」のブランド化や魅力ある環境活用プログラムの効果的なPRにより、広域での観光利用による集客が期待できます。
- ・健康ゾーンの快適性の向上を目的とした老朽化施設のリニューアルおよび里山フィールドミュージアム、追加開園によるレクリエーション空間や美しい里山の景観の提供により、入園者の増加が期待できます。
- ・インバウンド対応を含むユニバーサルデザインによる施設整備を行うことで、誰もが利用しやすい公園となります。
- ・地元の近隣施設などと連携し、イベントによる協力や共同事業を行うことにより、地域の観光振興や活性化に貢献できます。

環境保全

- ・ボランティア等との協働活動により、里山として自然環境に対する適度の管理作業を推進し、地域固有の生物生息環境の保全が図れます。
- ・園内の維持管理作業により発生する剪定枝、間伐材などをリサイクルし、園内で再利用することにより、環境に配慮した公園管理費や維持管理費の縮減が可能になります。また、長寿命化計画に基づく、計画的な補修・更新を推進することで、トータルコストが縮減されます。

防 災

- ・里山フィールドミュージアム未供用区域の整備推進により、発災時に活用可能なオープンスペースの確保、充実が実現します。
- ・さらに、発災時を想定した防災体験プログラムを定期的に実施することにより、広域防災拠点としての役割を周知することができます。

本プログラムは、事業の進捗状況などを踏まえて、適宜見直しを行っていきます。